

60.3.7 14¹-

⑬ 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—39920

Int. Cl.³
F 01 P 5/14
1/06

識別記号

厅内整理番号
7137-3G
7137-3G

公開 昭和59年(1984)3月5日

発明の数	1
審査請求	未請求

(全 2 頁)

④エンジンと駆動装置の冷却装置

⑫發明者 渡辺剛

浜松市西伊場町20番17号

②特 願 昭57—149233

①出 願 人 鈴木自動車工業株式会社

出 願 昭57(1982)8月30日

静岡県浜名郡可美村高塚300番地

⑦発 明 者 飯山忠司

⑭代 理 人 弁理士 猪股清

外3名

静岡県浜名郡雄踏町600-292

明 和 邦

4. 発明の名称 エンジンと駆動装置の冷却装置

2. 特許請求の範囲

エンジンでベルト駆動装置を介して鉄系物を駆動するようにしたオートバイに於て、エンジンのタング軸の端に連結したファンでシリンダに送風して冷却するようにすると共に、一部を分岐させてポンプケースに送風してベルトケース内のベルト駆動装置を冷却するようにしたことを特徴とするエンジンと駆動装置の冷却装置。

ハ、発明の詳細を説明

この発明は、エンジンでベルト駆動装置を介して法直輪を駆動するオートバイのエンジンと駆動装置の冷却装置に関する。

7 型のベルトを用い、遠心力でブリーの径を
変える自動変速装置は、自動変速機としては、相

造が簡単に安価にできる特徴がある。しかし、V型のベルトは、高速で運転すると、磨げられて変形するときに発熱し、温度上昇によって劣化し、耐久性が低くなり、しばしば交換しなければならぬ不都合がある。

この発明は、かかる点に鑑み、ベルト駆動装置を冷却して、ベルトの耐久性を高めるように改善したもので、以下本発明を図面に示す実施例について説明する。

第1図は、本発明の一実施例を示すもので、ペルトケースの前面側にエンジンが搭載され、エンジンとのクラッチ軸とペルトケースに接続した中間部にて可変部のフーリーもが取附された。駆動のペルタウを巻掛ける。フーリーの側面に接するクラッチがあり、歯車減速段を介して後車箱10の後車輪11に連結している。エンジンと同様のクラッチの回転を上げていくと、フーリー・ペルト・フーリーと回転が伝わり、所定の回転数に達すると遠心クラッチが閉鎖し、歯車減速段を介して後車輪が回転して走行。

が、更にエンジン回転を上げると、プーリー
とプーリーの遠心力による可変係が行われて、
増速される。而して、この係りは、かかる状態に
於て、クランク軸の端に、ファンを連結し、
エンジン側のシリンダ部分にファンカバーで
包む。そして、シリンダとベルトケースの間
に仕切壁を入れて、ベルトケースにも一部分
連結する。ベルトケースの状態には、出口を
設ける。

作用について説明する。

クランク軸の回転と共にファンは回転して
送風をする。この送風の大部分は、シリンダ内
に向って流れ、シリンダ内を強制冷却する。残りの
一部は、ベルトケースを前から後方に流れ、ベ
ルトケースを冷却するので、ベルトケースの温度上昇が防
げて、耐久性が向上する。

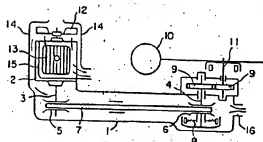
第1図は、本発明の他の実施例を示すもので、
ベルトケースの後面の出口を、後車輪の周
りまで延長してある。その他の点は第1図に示し
たものと同一である。出口は、後車輪の周

りまで延長することによって、ベルトケース内の
ベルトを冷却した風は、後車輪の周りに吹出
し、後車輪の装着されたブレーキも冷却でき
る。

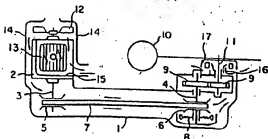
以上説明したように、この発明は、エンジンで
ベルト駆動装置を介して後車輪を駆動するように
したオートバイに於て、エンジンのクランク軸の
端に連結したファンでシリンダに送風して冷却す
るようにすると共に、一部を分岐させてベルトケ
ースに送風してベルトケース内のベルト駆動装置
を冷却するようにしたので、シリンダを強制冷却
するファンで、一部の送風分岐によって、ベルト
を冷却でき、ベルトの温度上昇による劣化が防
げ、耐久性が向上する。ファンを若干大きくする
だけでできて、製造コストも安価にできる。又、ベ
ルトケースの冷却風出口を、後車輪の周りに延長
することによって、後車輪のブレーキの冷却まで
行うこともできる。

4. 図面の簡単な説明

第1図



第2図



第1図は本発明の一実施例を示す縦断平面図。
第2図は本発明の他の実施例を示す縦断平面図で
ある。

1...ベルトケース、2...エンジン、3...クラン
ク軸、7...ベルト、10...後車輪、11...ファン、13
...シリンダ。

出願人代理人 猪 放 清

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 59-039920
(43)Date of publication of application : 05. 03. 1984

(51)Int. Cl.

F01P 5/14
F01P 1/06

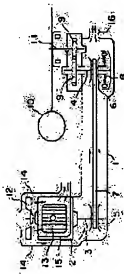
(21)Application number : 57-149233 (71)Applicant : SUZUKI MOTOR CO LTD
(22)Date of filing : 30. 08. 1982 (72)Inventor : IIYAMA TADASHI
WATANABE TAKESHI

(54) COOLING DEVICE FOR ENGINE AND DRIVE MECHANISM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent deterioration of engine performance owing to rise of belt temp. by cooling cylinders with fans coupled with the end of crank shaft and by allowing part of the air stream to diverge for inside the belt case for drive of the rear wheel of a motorcycle.

CONSTITUTION: A cooling fan 12 is coupled with the end of crank shaft 3 of an engine 2 for motorcycle to blow wind to a cylinder or cylinders 13 for cooling them. Pulleys 5, 6, whose diameters are changeable and on which a belt 7 is stretched over, are mounted at the other end of the crank shaft 3 and on an intermediate shaft 4 borne by the belt case 1, respectively, and are coupled with the rear axle 11 with a centrifugal clutch 8 and reduction gear 9 interposed. Part of the cooling air diverges for inside the belt cover 1 coupled with the fan cover 14, and upon cooling the belt 7 is exhausted from an outlet 16 provided at the rear end of belt case 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision
of rejection]
[Kind of final disposal of application
other than the examiner's decision of
rejection or application converted
registration]
[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office